

# CMIC REPORT 2016

シミックレポート2016  
2015.10.1-2016.3.31  
第32期中間ビジネスレポート

## CONTENTS

- |                              |                                  |
|------------------------------|----------------------------------|
| 01 「CMIC'S CREED」            | 11 TOPICS                        |
| 02 CEO中村和男メッセージ              | 13 会社情報                          |
| 03 トップインタビュー                 | 14 株式の状況／会社概要                    |
| 05 特集 業績V字回復と<br>さらなる成長を目指して | 巻末 株主メモ／<br>healthクリックの<br>健康コラム |
| 09 事業別概況                     |                                  |



**CMIC**

Pharmaceutical Value Creator



## 〈私たちの決意〉

一度しかない人生を、年齢や性別、  
人種に関わらず、誰もがその人らしくまっとうしていくために、  
ヘルスケア分野に革新をもたらすことを、  
シミックグループの志とする。

まばゆい成長力を開花させる幼年でも、  
人生を成熟させていく老年でも、今この瞬間を生きようとする願いは、  
どれも等しく尊い。そのすべてをひとつたりとも見過ごすことなく、  
正面から受けとめていきたい。

そのために私たちは、いついかなるときも  
より良い未来を求める挑戦者でいたい。  
そして、自己を変革し、新たな視点を獲得することで、  
自らのゆるぎない情熱を価値に変えて、  
人や社会に提供し続けていく。

# Top Message

2016年9月期の業績V字回復に向けた施策を着実に進め、  
CMICならではの新たなソリューション提供を本格化させます。

株主の皆様には、日頃より格別のご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。  
2016年9月期 第2四半期の決算および事業の概況についてご報告申し上げます。

現在の医薬品業界は、大きな変革期を迎えております。政府の成長戦略において革新的新薬の創出に向けた施策が示される一方で、社会保障費の抑制を目的としジェネリック医薬品の普及目標が設定され、ジェネリック医薬品への置き換えが進まない長期収載品の薬価を引き下げる制度が導入されました。これらの影響により、当社グループの主な顧客である製薬企業においては、経営効率化の下での新薬開発力の強化が求められ、ジェネリック医薬品の普及促進に合わせた生産体制の確立などが課題となっており、今後もアウトソーシングニーズが高まり市場規模は中期的に拡大傾向にあると考えております。

このような環境の下、当社グループは前期まで二期連続の減益となっておりますが、2015年9月期より開始した赤字事業の解消およびコスト構造の改革を推進し、さらなる成長に向けたビジネスモデルの進化を図る**Project Phoenix(プロジェクト フェニックス)**が成果を上げ、皆様のご支援のおかげをもちまして、当第2四半期におきましては、売上高30,767百万円、営業利益2,052百万円と業績が大幅に伸長し、通期の営業利益におきましても当初見通しを大幅に上回る3,100百万円となる見込みとなりました。

2016年4月からは、**Project Phoenix**をさらなる成長に向けたステージに引き上げ、これまで展開してきた独自の事業モデルPVC (Pharmaceutical Value Creator)を活かした当社グループならではのソリューションビジネスの展開を進めております。今後もヘルスケア分野に革新をもたらすため役職員一人ひとりが「CMIC'S CREED」に込められた決意を胸にさらなる飛躍を目指し尽力してまいりますので、何卒ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

代表取締役CEO 中村 和男





Q 当第2四半期の業績について

A 当第2四半期は、前年度より開始した、赤字事業の解消およびコスト構造改革の推進を通じて業績V字回復を図るプロジェクト「Project Phoenix」において、CMO(医薬品製造支援)、SMO(治験実施施設支援)、オーファンドラッグ(希少疾病用医薬品)の3事業の業績改善に向けて、グループ一丸となって取り組みました。売上高は、CRO(医薬品開発支援)事業およびCSO(医薬品営業支援)事業の堅調な進捗および(株)JCLバイオアッセイ(現シミックファーマサイエンス(株))の業績が加わったことにより、30,767百万円(前



年同期比16.1%増)となりました。営業利益につきましては、SMO業務が大幅に業績を回復するなど、前年同期に営業損失を計上した3事業すべてが黒字転換したことにより、2,052百万円(同278.2%増)となりました。

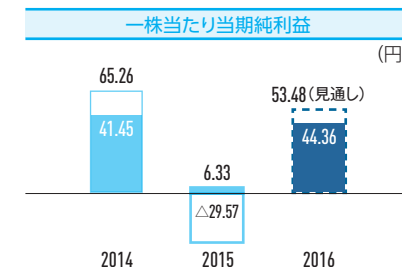
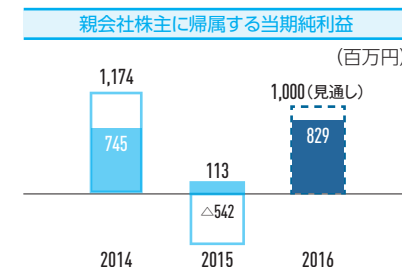
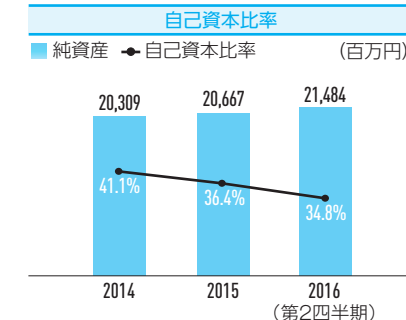
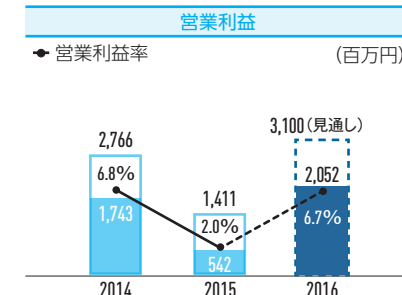
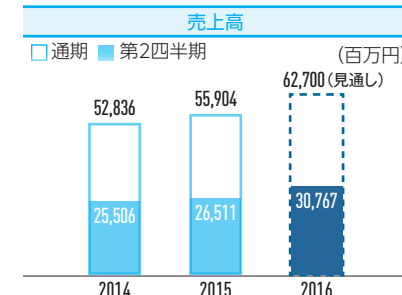
Q 通期の見通しについて

A 通期業績は、Project Phoenixにおける赤字事業の解消およびコスト構造改革が着実に実現しつつあり、業績V字回復を達成できる見込みです。売上高は、各事業の堅調な進捗により増加し、62,700百万円(前期比12.2%増)となる見通しです。営業利益は、各事業の売上高の伸長に加え、当第2四半期で進展した各事業における生産性向上の施策および全社の販売管理費のコスト低減等の効果が寄与することから、3,100百万円(同119.6%)となる見通しです。営業利益の増加により、経常利益は

2,700百万円(同178.1%増)、親会社株主に帰属する当期純利益は1,000百万円(同1,502百万円増)となる見通しです。

配当につきましては、業績に応じた配当を実施することを基本方針とし、その方針のもと、連結配当性向の目標を30%とし、同時に継続的かつ安定的な配当実施にも努めております。通期業績がV字回復を達成できる見込みから、2015年11月に発表した配当予想から1株当たり6円増配し、年間配当は16円を見込んでおります。

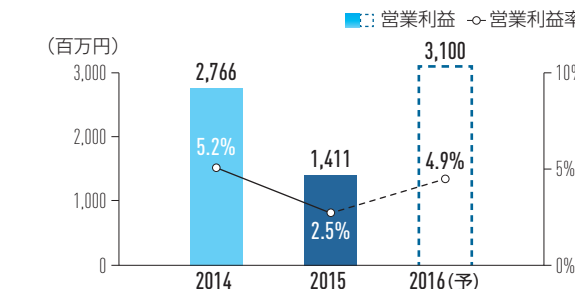
2016年9月期 上期業績



当レポートに記載されている業績予想並びに将来予測などは、入手可能な情報に基づき当社が判断した予想であり、潜在的なリスクや不確実性が含まれています。そのため、さまざまな要因の変化により、実際の業績は記述されている将来見通しとは異なる結果となる可能性があります。

2016年9月期 通期見通し

全体	(百万円)		
	2015(実績)	2016(見通し)	増減率
売上高	55,904	62,700	+12.2%
営業利益	1,411	3,100	+119.6%
経常利益	970	2,700	+178.1%
親会社株主に帰属する当期純利益	△542	1,000	-



セグメント別	(百万円)			
	2015(実績)	2016(見通し)	増減率	
CRO事業	売上高	27,471	29,800	+8.5%
	営業利益	5,092	4,600	△9.7%
CMO事業	売上高	13,810	14,600	+5.7%
	営業利益	△325	350	-
CSO事業	売上高	8,875	9,800	+10.4%
	営業利益	716	850	+18.6%
ヘルスケア事業	売上高	5,640	6,700	+18.8%
	営業利益	△1,188	100	-
IPD事業	売上高	762	2,600	+241.1%
	営業利益	△356	△200	-
調整額	売上高	△656	△800	-
	営業利益	△2,526	△2,600	-
合計	売上高	55,904	62,700	+12.2%
	営業利益	1,411	3,100	+119.6%

# Project Phoenix

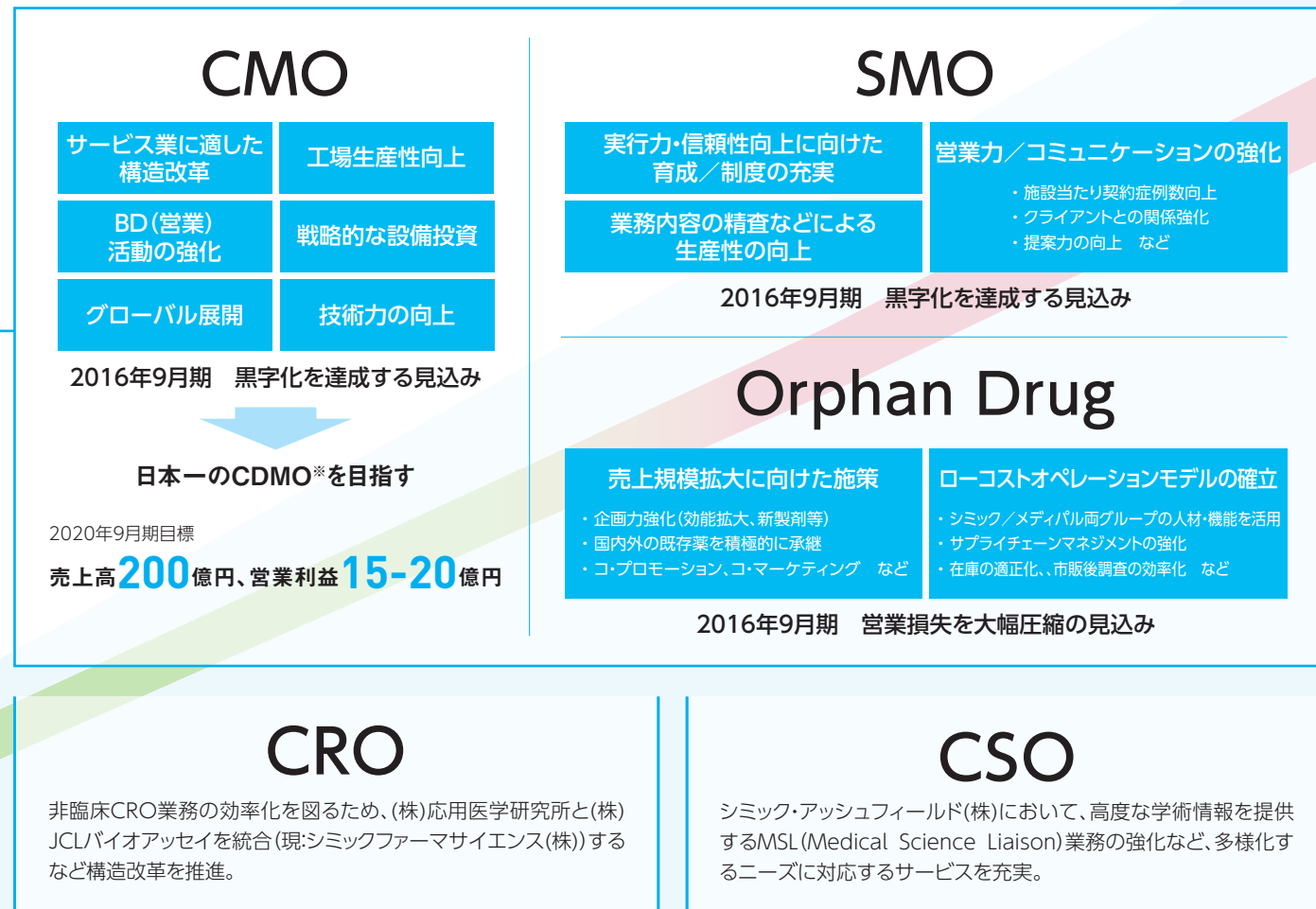
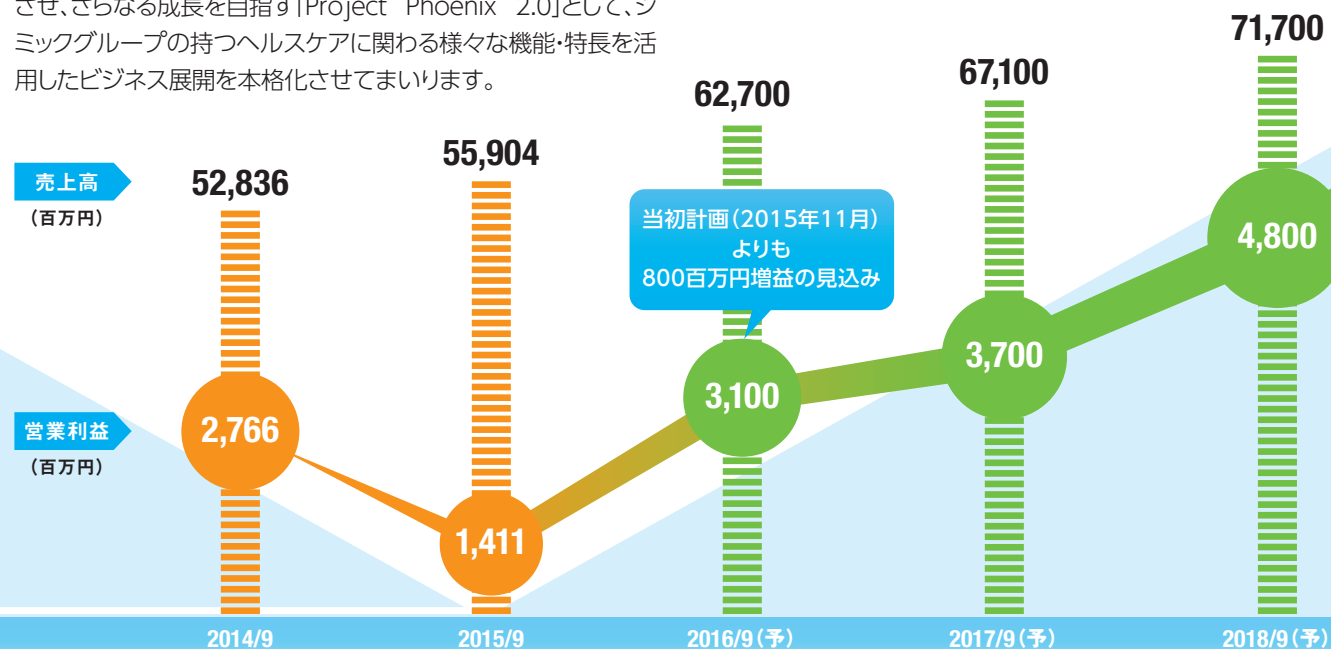
## 赤字事業の解消に目処 さらなる成長を目指してステップアップ —Project Phoenix 1.0から2.0へ

2014年10月より、業績V字回復に向けたグループ全体の取り組み「Project Phoenix」において、赤字事業の解消およびコスト構造改革の数々の施策を推進しています。その成果から、前期までの減益の要因となっていた、CMO(医薬品製造支援)、SMO(治験実施施設支援)、オーファンドラッグ(希少疾病用医薬品)の3事業において、黒字化の目処をつけることができました。

2016年4月からは、「Project Phoenix 1.0」をステップアップさせ、さらなる成長を目指す「Project Phoenix 2.0」として、シミックグループの持つヘルスケアに関わる様々な機能・特長を活用したビジネス展開を本格化させてまいります。

### Project Phoenix 1.0での課題

- ▶ 赤字事業の解消、コスト構造の改革
- ▶ 企業文化の確立 (CMIC'S CREED)



## 2016年4月より Project Phoenix 2.0 をスタート

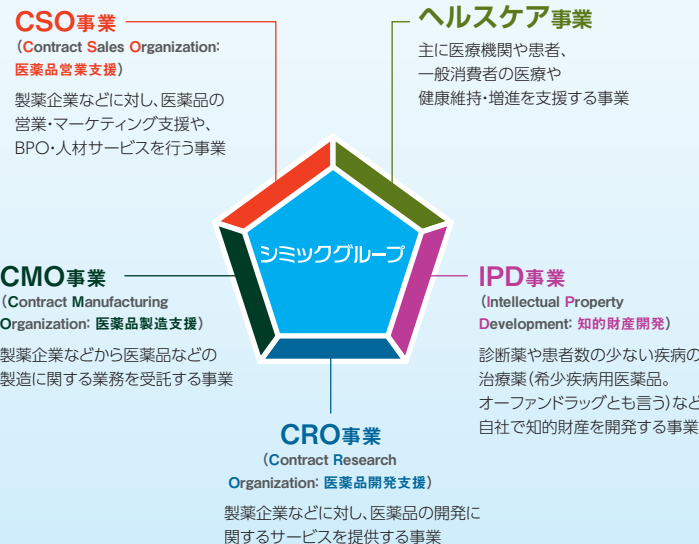
- ▶ 効率経営を目指した組織再編、人材教育
- ▶ PVC機能を活用したソリューション提供

※: Contract Development and Manufacturing Organization 受託開発製造会社

# CMICのソリューションビジネス

## CMICだからできるソリューション展開でヘルスケアに患者目線での革新を

シミックグループは、製薬企業の付加価値向上に貢献する独自のビジネスモデルPVC (Pharmaceutical Value Creator) を展開し、医薬品の開発、製造、営業・マーケティングのバリューチェーンを広範に支援しております。さらなる成長を目指して2016年4月よりスタートしたProject Phoenix 2.0 においては、PVCの持つ多彩なサービスを組み合わせることができるシミックグループの強みを活かし、さまざまな課題やニーズごとのソリューションを提案するビジネスを強化することで、患者の皆様により良い薬をより早くお届けすることに挑戦してまいります。



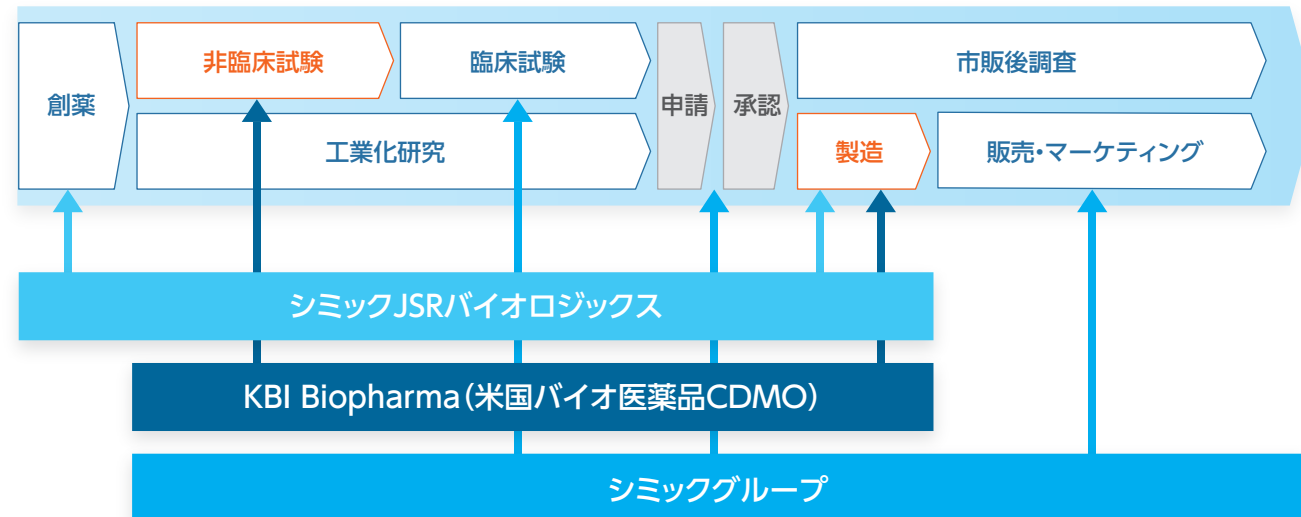
## PVCの機能を活用したソリューション展開

- バイオ医薬ビジネスソリューション**  
バイオ医薬品開発を総合的に支援
- アカデミアビジネスソリューション**  
アカデミア発の革新的な医薬品の創出を総合的に支援
- オンコロジービジネスソリューション**  
専門性が高く特殊な疾患領域であるがん領域のビジネスを総合的に支援
- ジェネリック医薬ビジネスソリューション**  
品質と経済性を追求したジェネリック医薬品の開発・生産を総合的に支援
- オーファンドラッグビジネスソリューション**  
薬が必要な希少疾患の患者さんへの安定的な供給を実現
- ジャパンビジネスソリューション**  
世界第2位の大きな市場である日本に基盤がない企業の日本市場参入を支援
- 生薬ビジネスソリューション**  
国内薬用植物の安定供給体制の構築とマーケット拡大を支援

## オンコロジー領域に特化したソリューション提供を行う「シミック・シフトゼロ株式会社」を合併で設立

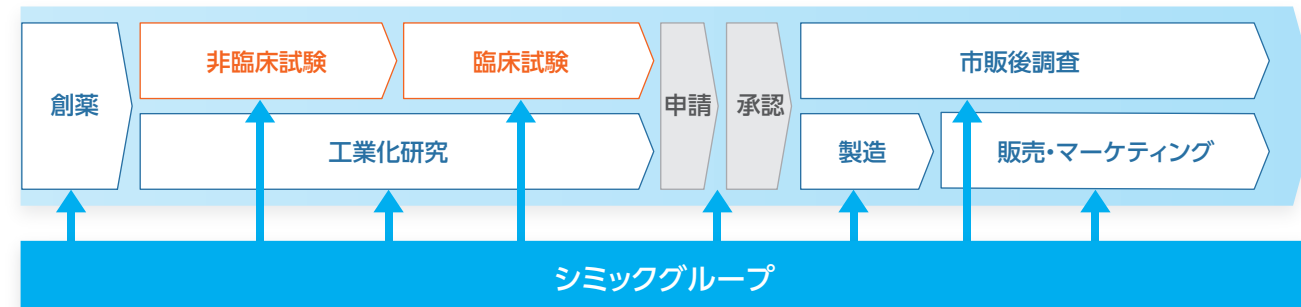
2016年1月に、オンコロジー(がん)領域における高度なノウハウ・人材を持つ(株)シフトゼロとともに、合併会社「シミック・シフトゼロ(株)」を設立しました。同領域において、開発から市販後までを見据えたシームレスなサービス提供を行う体制を整えました。

## バイオ医薬ビジネスソリューション



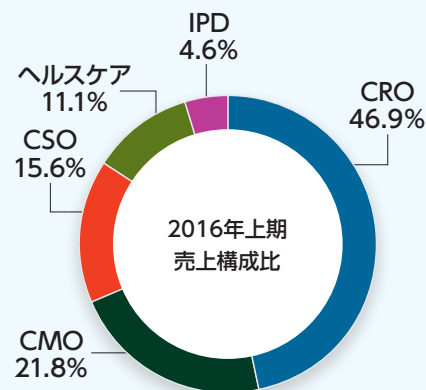
近年開発される新薬は、これまでの低分子医薬品から抗体医薬品などのバイオ医薬品が主流になってきています。CMICのバイオ医薬ビジネスソリューションでは「世界的なバイオ医薬品生産ローコストモデルの確立」と「日本におけるバイオCDMO事業の確立」を目指し、合併会社のシミックJSRバイオリジクス(株)における次世代抗体医薬品の開発、JSR(株)、(株)産業革新機構とともに共同出資した米国のバイオ医薬品CDMOのKBIとの連携強化、日米における医薬品測定業務の強化などに取り組んでいます。

## アカデミアビジネスソリューション



医薬品の3割はアカデミアシーズから生まれており、開発難易度が向上している近年では、重要性がますます高まっています。CMICのアカデミアビジネスソリューションでは、シミックグループの開発初期から市販後に至るサービスを提供するだけでなく、「アカデミアシーズを商品化、アカデミアネットワークを構築」することを目指し、経営資源(ヒト、モノ、カネ)の乏しいアカデミアに対する公的資金・民間ファンドからの調達支援やアカデミア発ベンチャー企業の設立支援などに取り組んでいます。

## 事業別概況



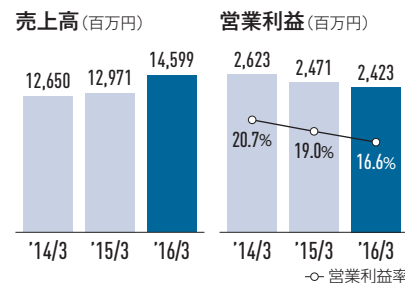
(株)応用医学研究所および(株)JCLバイオアッセイは、2014年10月1日付で報告セグメントをCMO事業からCRO事業に変更しています。セグメント別の業績につきましては、当該変更後の区分に基づいて比較しています。

### 各事業の主要顧客



## CRO (医薬品開発支援) 事業

非臨床試験・臨床試験(治験)、承認申請、製造販売後調査、分析化学サービス等、開発全般の支援



### 業績概況

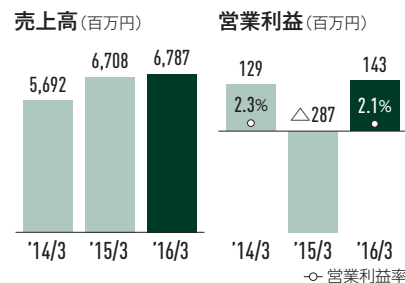
モニタリング業務および市販後調査業務において新規受注および既存案件が堅調に進捗したこと、(株)JCLバイオアッセイの売上高が加わったことなどにより売上高は前年同期を上回りましたが、非臨床業務における受注遅れやのれん償却費の増加等の影響により、営業利益は微減となりました。

### Topics

近年ニーズが高まっているオンコロジー(がん)領域のサービスの拡充のため、高度なノウハウを持つ(株)シフトゼロと合弁会社シミック・シフトゼロ(株)を設立し、オンコロジー領域の開発から市販後までシームレスに支援できる体制を整えました。

## CMO (医薬品製造支援) 事業

製剤開発、治験薬・医薬品の受託製造



### 業績概況

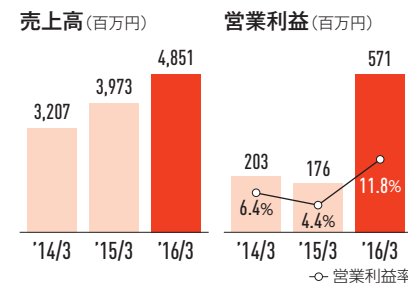
売上高は、新規案件の受託生産が堅調に進捗したことなどにより前年同期を上回りました。また、コスト構造改革のための取り組みを継続的に実施したことなどにより、前年同期に比べ大幅に採算が改善し、営業黒字を計上いたしました。

### Topics

今後の市場規模拡大が見込まれる抗がん剤領域の注射剤製造委託ニーズに応えるため、足利工場において高薬理活性製剤や生物由来製剤に対応可能な新注射剤棟を建設することを決定し、2018年末の稼働開始を目標にプロジェクトを進めています。

## CSO (医薬品営業支援) 事業

医薬品などの営業・マーケティング支援や医薬・製薬業界向けBPO・人材サービス



### 業績概況

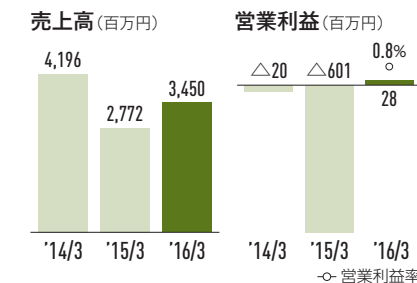
売上高および営業利益は、MR<sup>\*1</sup>派遣業務およびBPO(Business Process Outsourcing)サービス業務において既存案件が順調に進捗したことなどにより、前年同期を上回りました。

### Topics

製薬企業において営業予算削減とリソース配分の見直しなどが進められる中、MR派遣業務の受注力強化およびサービスモデル拡充に取り組んでいます。

## ヘルスケア 事業

治験施設支援やヘルスケア情報サービス



### 業績概況

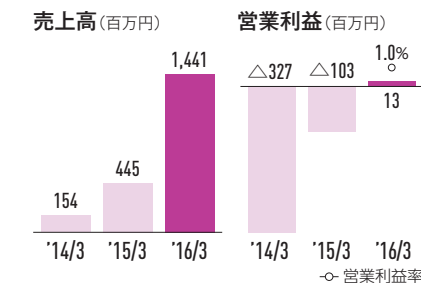
売上高は、SMO<sup>\*2</sup>業務の新規受注および既存案件が堅調に進捗したことなどにより、前年同期を大幅に上回りました。また、既存案件が堅調に進捗したこと、経営効率化のための施策を継続的に実施したことなどにより、前年同期に比べ大幅に採算が改善し、営業黒字を計上しました。

### Topics

前年度より取り組んでいるコスト削減やプロジェクト管理の徹底などの経営効率化の施策を継続して進めています。また、営業活動の一層の強化、医療機関ネットワークの拡大へ取り組み、新規案件の獲得に邁進しています。

## IPD (知的財産開発) 事業

診断薬やオーファンドラッグなどの開発や販売



### 業績概況

診断薬(当社グループが開発した体外診断用医薬品レナプロ<sup>®</sup>L-FABPテスト)およびオーファンドラッグなどの販売量が大幅に増加したことなどにより、売上高は前年同期を大幅に上回り、営業黒字を計上しました。

### Topics

オーファンドラッグ事業において、アステラス製薬(株)から承継した「ダントリウム<sup>®</sup>」「アストミン<sup>®</sup>」2剤の販売を開始しました。また、診断薬事業において、簡易検査(Dip-test)キットの開発を進めています。

\*1: MR(医薬情報担当者):医療機関に対して、医薬品の効能や副作用などに関する情報の提供と収集にあたる専門スタッフのこと

\*2: SMO(Site Management Organization)治験施設支援機関:臨床試験を実施する医療機関から委託を受けて医療機関の治験業務を支援する企業・組織



## 非臨床CRO事業

非臨床業務を一元的に  
トータルサポートする体制に

2015年10月に(株)応用医学研究所と(株)JCLバイオアッセイを合併し、日本最大級の分析CROとなるシミックファーマサイエンス(株)として営業を開始しました。2016年4月には、このシミックファーマサイエンス(株)と(株)シミックバイオリサーチセンターを合併し、創薬段階での有効性/安全性評価から、開発コンサルティングや承認申請用の様々な試験・申請資料作成、さらには商用ステージでの医薬品の出荷検査まで、非臨床分野におけるトータルソリューションを提供できる体制を整えました。

## 日米のラボでシームレスな連携



米国 (CMIC, Inc.)

石狩ラボ

西脇ラボ

## バイオリサーチセンター「森の研究所」



山梨県 2016年7月稼動予定

## CMO事業

## 最新設備を整えた注射剤棟の新設に着手

2016年4月にシミックCMO(株)とシミックCMO足利(株)を合併し、国内3工場(静岡、富山、足利)の事業運営の効率化、さらなる業容拡大のための基盤整備を進めています。各工場の特長に合わせた製品目録の再配置を進めるとともに、足利工場において高度な製造技術とグローバル基準への対応を可能とする新注射剤棟の建設に着手するなどの積極的な設備投資を行い、今後伸長が予想されるがんなどの領域の新薬に対応する体制を整えてまいります。

## 特長ある国内3工場を一元管理



静岡 (固形剤)

富山 (半固形剤)

足利 (注射剤)

## 足利工場新注射剤棟



栃木県 2018年12月稼動予定

CMIC'S CREEDの理念を実感する  
新卒社員研修を行いました

4月1日、シミックグループは179名の新卒新入社員を迎えました。新卒社員研修の一環として、山梨県内の保育園や介護施設、障がい者支援施設など37カ所の福祉施設においてボランティア活動を実施しました。この活動は、ダイバーシティ(多様性)を享受することの重要性を体感することで、生命関連産業に携わる一員としてCMIC'S CREEDへの理解を深め、その理念を今後の行動の礎とすることを目的として、今年をはじめ研修プログラムに取り入れられました。ボランティア活動を体験した新入社員と引率したトレーナーに、活動を通じて学んだ点をインタビューしました。



- 1.どのような活動をしましたか?
- 2.どのような気づきや学びがありましたか?

名前  
HUANG, Shuying所属  
シミック(株) CDM事業本部

**A.1** 北州市立白州保育園を訪れ、園児たちの怪我を防ぐために園庭に落ちていた石や枝拾いを行いました。また、手作りアイテムの制作や、園児と触れ合う機会をいただきました。

**A.2** 日本の保育園を訪れること自体初めてで、園児たちの本能的な行動が印象的でした。高い場所に登ったと思うと降りることができず助けを求めると、園児たちと楽しく遊びながらも、注意を促す際はどのように伝えるべきか戸惑いました。保育士の先生方から、どのような話し方なら、園児たちに理解し聞き入れてもらえるのかを学び、さらに子どもに限らず相手目線から物事を考えることの大切さを痛感しました。預かった大事なお子様を怪我なく無事に保護者様の元へ返す保育士という職業の責任の重大さと保育園と保護者の双方の信頼関係の重要性を感じました。

名前  
竹重 勇哉所属  
シミックファーマサイエンス(株) Bioanalysis事業部

**A.1** 北州市のいずみ保育園にて保育の補助および園内の環境整備を行いました。心配りの心を意識し、子ども達に少しでも笑顔を届けられるようにと思いましたが、帰り際でも元気いっぱいの子供達を前にして、逆に私達が多くの笑顔をいただきました。

**A.2** 活動を通して、CMIC'S CREEDにもあるコミュニケーションの重要性に改めて気づかされました。研修期間中、常に「本質を見極める」という言葉をテーマとして挙げていただいたため、ボランティア活動中はどういった行動が子ども達にとってプラスになるか、あるいはどうすればチームで園内の作業を円滑に進める事が出来るかを意識し、話し合い、実際に動く事で非常に良い経験となりました。これらの研修を通して得た経験を生かし、現在は積極的にコミュニケーションを図りながらグループ内での試験業務に従事しています。



新入社員10人が福祉施設で研修  
北州市シミック  
北州市に研修施設がある医療関係支援手のシミック  
ホールディングス(東京)と和男CRO(甲府)出身は6日北州市内の福祉施設などで新入社員研修を始めた。約180人が2週間の期間中に市内の保育園や介護施設など37カ所で、ボランティアを兼ねて活動。6日は10カ所に分かれて施設の通所者と一緒に作業をした。同市高根町支輪の市立福祉センター(シミックファーマサイエンス)では、4人が花の苗を植える作業に力を入れた。写真:重機の部品を入れる段ボールを組み立てた。

山梨日日新聞の朝刊に掲載されました  
(2016年4月8日)

名前  
棚野 豪太所属  
サイトサポート・インSTITUTE(株)  
オペレーション統括本部

**A.1** デイサービスの施設をトレーナーとして担当し、利用者のお話の相手、食事の配膳、入浴後の対応、仮眠準備、清掃活動を新卒の監督と併せて体験いたしました。

**A.2** ボランティア活動は目的がはっきりとしているため、内向的な新卒社員でも自らできることを探し、気づき、確認し、行動に移すことができている。他者との関わりにおいて相手のことを考えた上での自発的な働きかけは何かの形で良い変化をもたらすということ、身をもって体験することができ、新卒社員も自発的な行動の重要性をわかりやすく捉えることができたと思います。日常においては、できることを探し、気づき、確認し、行動に移すことは途端に難しくなってしまうことがありますが、モチベーションを高く持って目的を意識しながら行動することの重要性を改めて学ぶ機会になりました。

## 会社情報

### コーポレート・ガバナンスへの取り組み

#### 基本的な考え方

当社は、生命を支える事業に携わる企業として倫理性と科学性を重視することを基本とし、株主やお客様をはじめとするステークホルダーの皆様に対し、経営の健全性、透明性、遵法性と公正さを確保することがコーポレート・ガバナンスの基本であると認識しています。

この基本的な考えに基づき、当社は、持株会社として、経営における意思決定および業務執行の効率性・迅速性の確保、経営責任の明確化を図るとともに、コンプライアンスの確保およびリスク管理の強化を通じて、企業価値の一層の向上に努めています。

現在、中期計画に基づいて中長期的な成長を目指した事業を推進していますが、会社の基盤として、健全なコーポレート・ガバナンスが必要です。昨年度から適用開始となった「コーポレートガバナンス・コード」の原則を踏まえつつ、コーポレート・ガバナンスに関する取り

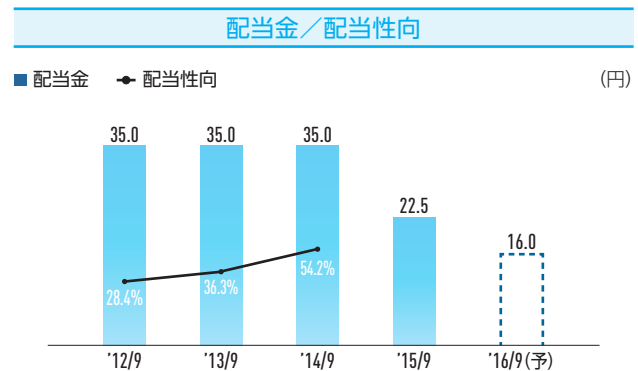
組みを推進しており、平成27年12月に「コーポレート・ガバナンスに関する報告書」を提出いたしました。

当社の組織形態は監査役設置会社から変更はありませんが、現在の取締役11名のうち4名が社外取締役であり、それぞれが企業経営に長年に携わった経営の専門家として、事業の推進において社外取締役の知見が発揮されています。

詳細につきましては、当社ホームページ (<http://www.cmic-holdings.co.jp/>) をご覧ください。

## 株主還元について

当社は、株主の皆様への利益還元を経営上の重要政策の一つと位置付け、収益力向上や企業基盤の強化のための内部留保を確保しつつ、業績に応じた配当を実施することを基本方針としています。この方針のもと、連結配当性向の目標を30%とし、同時に継続的かつ安定的な配当実施にも努めています。当期につきましては、昨年11月に発表した業績予想を上方修正したことから、配当予想から1株当たり6円増配し、1株当たり16円とさせていただきます。



## 株式の状況 2016年3月31日現在

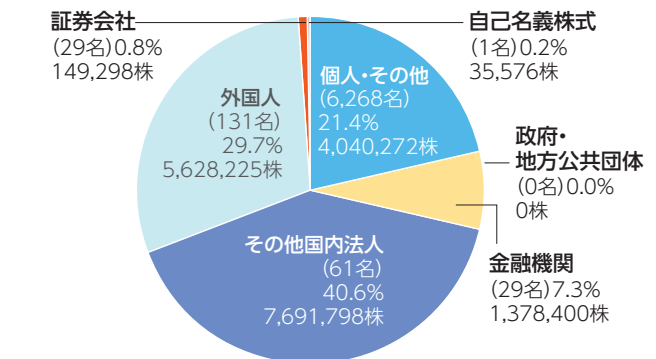
発行可能株式総数	46,000,000株
発行済株式総数	18,923,569株
株主数	6,519名

### 大株主

株主名	所有株式数 (株)	持株比率 (%)
株式会社アルテミス	6,368,200	33.65
株式会社キースジャパン	1,163,140	6.14
THE BANK OF NEW YORK-JASDECTREATY ACCOUNT	1,018,800	5.38
PERSHING-DIV. OF DLJ SECS. CORP.	807,947	4.26
GOLDMAN, SACHS & CO.REG	651,400	3.44
中村和男	546,020	2.88
シミックホールディングス従業員持株会	453,314	2.39
TAIYO HANEI FUND, L.P.	428,600	2.26
THE BANK OF NEW YORK 133522	329,600	1.74
STATE STREET BANK AND TRUST COMPANY	325,360	1.71

(注)発行済株式総数に対する持株比率は、小数点以下3位を切り捨てております。

### 所有者別の構成比率(株式数比率)



## 会社概要

商号	シミックホールディングス株式会社
設立	1985年
資本金	3,087百万円
本社所在地	〒105-0023 東京都港区芝浦1-1-1 浜松町ビルディング
事業所	名古屋支社 大阪支社 九州支社
従業員数	5,728名(連結) (2016年3月31日現在)
グループ会社 (連結子会社)	シミック(株) シミックPMS(株) シミック・シフトゼロ(株) シミックファーマサイエンス(株)*1 CMIC, Inc. CMIC Korea Co., Ltd. CMIC ASIA-PACIFIC, PTE. LTD. CMIC ASIA PACIFIC (MALAYSIA), SDN. BHD. CMIC (Beijing) Pharmaceutical Services Co., Ltd. CMIC (Beijing) Co., Ltd. シミックCMO(株)*2 CMIC CMO Korea Co., Ltd. CMIC CMO USA Corporation シミック・アッシュフィールド(株) (株)シミックBS サイトサポート・インスティテュート(株) (株)ヘルスクリック CMIC VIETNAM COMPANY LIMITED (株)オーファンパシフィック
(関連会社)	エムディエス・シーエムジー(株) シミックJSRバイオロジクス(株)

\*1 2016年4月1日付で、(株)シミックバイオリサーチセンターを統合しました  
\*2 2016年4月1日付で、シミックCMO足利(株)を統合しました



# 株主メモ

事業年度	10月1日から翌年9月30日まで
剰余金の配当基準日	9月30日(中間配当を行う場合は3月31日)
定時株主総会	毎年12月
単元株式数	100株
株主名簿管理人	東京都中央区八重洲一丁目2番1号 みずほ信託銀行株式会社
郵送物送付先	証券会社等に口座をお持ちの場合 お取引の証券会社等  証券会社等に口座をお持ちでない場合(特別口座の場合) 〒168-8507 東京都杉並区和泉2-8-4 みずほ信託銀行株式会社 証券代行部
電話お問い合わせ先	証券会社等に口座をお持ちの場合 お取引の証券会社等  証券会社等に口座をお持ちでない場合(特別口座の場合) ☎ フリーダイヤル 0120-288-324 (土、日、祝日を除く 9:00~17:00)
各種手続 お取扱い場所 (住所変更、株主配当金 受け取り方法の変更等)	証券会社等に口座をお持ちの場合 お取引の証券会社等  証券会社等に口座をお持ちでない場合(特別口座の場合) みずほ証券株式会社 本店および全国各支店 ブラネットブース(みずほ銀行内の店舗)でもお取扱いいたします。 みずほ信託銀行株式会社 本店および全国各支店 <sup>(※)</sup> (※)トラストラウンジではお取り扱いできませんのでご注意ください。
公告方法	電子公告( <a href="http://www.cmic-holdings.co.jp/">http://www.cmic-holdings.co.jp/</a> ) ただし、やむを得ない事由によって、電子公告による公告をすることができない場合には、日本経済新聞に掲載して行います。
証券コード	2309

## シミックホールディングス株式会社

〒105-0023 東京都港区芝浦1-1-1 浜松町ビルディング  
Tel 03-6779-8000  
<http://www.cmic-holdings.co.jp/>

UD FONT  
by MORISAWA

見やすいユニバーサルデザイン  
フォントを採用しています。



この印刷物は、復興支援の一環として、福島県の印刷会社に製造を依頼し発行したものです。

## healthクリックの健康コラム

### 40代の若さで白内障になる?

視力の低下やかすみ目などが起きる白内障は、一般的に高齢者の病気というイメージが定着していますが、40代や50代のうちに「若年性白内障」が発症することもあります。原因として喫煙や糖尿病が挙げられますが、忘れてはならないのが紫外線の影響です。紫外線の波長のうちB波によって、水晶体に含まれるたんぱく質の変性や水分量の変化が起き、色の濁りが進行すると考えられています。

### 目も紫外線対策を

紫外線が発症リスクを高める目の病気は、白内障だけではなく、長時間にわたって紫外線にさらされた場合や、目の奥にある水晶体や網膜に紫外線が到達した場合は、目がダメージを受けることがあります。予防のためには、年齢に関わらず、紫外線から目を守る事が重要です。帽子や日傘などで肌の紫外線対策はできていても、目にまで気が回らない人も多いかもしれません。外出の際は、UVカットタイプのサングラスや眼鏡、コンタクトレンズを使用するなど、目を守ることも忘れずに。



「紫外線が発症リスクを高める目の病気」とは…?

この続きはhealthクリックのサイトで

目の紫外線対策 を検索

▶「目の紫外線対策で、白内障を予防しよう!」をご覧ください

healthクリック

「healthクリック」は、健康一般情報および疾病に関する情報を提供する日本最大級の健康ポータルサイトです。ぜひご利用ください。



病院・薬・サプリメントの情報満載!

詳細はこちらへ <http://www.health.ne.jp>